



ひゅーまんらいつ

第114号 平成22(2010)年



第1回 誰でも人権 アカデミー

がはじまります

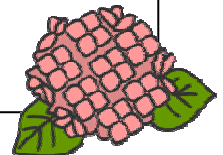
とき：6月8日(火) 19:00~21:00
ところ：米子市人権情報センター(第2庁舎1階)
講師：山根美奈子さん(社)日本助産師会鳥取県支部)
演題：「へその緒からのメッセージ」

山根さんは、「いのち」の誕生からこの世に生まれ出てくる瞬間を見守り続け、その「いのち」の成長に長年よりそってこられました。今年度最初の講座では、人権を尊重する上でもっとも基本となる「いのち」についてのお話です。
みなさんの参加をお待ちしています。

「いのちのバトン」より引用
相田みつを氏

自分の番
いのちのバトン

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二十四人
二十代前ではー？
なんと百万人を越すんです
過去無量の
いのちのバトンを受けついで
いまここに
自分の番を生きている
それが
あなたのいのちです
それがわたしの
いのちです



「いのち」ってなんでしょう？
そうです、生きているということですね。そして「いのち」は誰にでも平等にあるのです。みんな大切で、みんな同じ「いのち」なのです。同じく大切なものに、「こころ」があります。「いのち」をどうやって使おうか決める「こころ」も大切にしていけるべきではないでしょうか。この世に生まれた奇跡に感謝し、この世に一人しかいない自分を大好きでいるために、「いのち」について一緒に考えてみましょう。



「つながってる！ いのちのまつり」
作：草場一壽 / 絵：平安座資尚

おへそを見るたびに思い出してほしい。
どんな時代も生き抜いてきた、たくさんのお母さんがいたことを。
おへそに触れるたびに感じてほしい。
お母さんをとおして、いのちはひとつにつながっていることを。



6月1日は～人権擁護委員の日～

人権擁護委員制度は、日ごろ地域に根ざした活動を行っている民間の人たちが、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたものです。

米子市には、米子市長から推薦されて法務大臣が委嘱した人権擁護委員がいます。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

(米子市人権擁護委員・五十音順・敬称略)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| *内海 敏(うつみ さとし) | *竹田 智枝(たけだ ちえ) |
| *小川 詔子(おがわ のりこ) | *長谷川 淑子(はせがわ としこ) |
| *小原 得雄(おはら とくお) | *福田 司(ふくだ つかさ) |
| *実繁 一朗(さねしげ いちろう) | *古川 拓郎(ふるかわ たくろう) |
| *左野 史子(さの ふみこ) | *矢倉 みゆき(やくら みゆき) |
| *杉本 真吾(すぎもと しんご) | *吉田 洋子(よしだ ようこ) |
| *長曾 景子(ながそ けいこ) | |

(お問合せ先) 鳥取地方法務局米子支局総務課 (電話 0 8 5 9 - 2 2 - 6 1 6 1)



今年度、米子市内小学校(4校)で「人権の花運動」が実施されます。花を育てることで、いのちの大切さや思いやりの心を育む運動です。



男女共同参画週間

6月23日～29日

平成11年6月23日に「男女共同参画社会基本法」が公布、施行されたことから、毎年23日から29日までの一週間を「男女共同参画週間」としています。

この週間中に、男女参画セミナーやパネル展など、さまざまなイベントが開催されます。みなさま、どうぞお気軽にご参加ください。

かぶりあシネマの集い～映画上映会～

のんちゃんのお弁当

ダメ亭主に愛想をつかし、安くて美味しい最高のお弁当屋を開くという目標に向かって、再スタートを切ろうと主人公が希望を持って奮闘する物語。

下町育ち、真っ直ぐで向こう見ずな子持ち主人公を演じるのは小西真奈美。わき役に、倍賞美津子、岸部一徳、山口紗弥加ら。

「かもめ食堂」「めがね」等で活躍するフードスタイリスト飯島奈美が手がけるお弁当、料理の数々も見ものです。

と き：6月26日(土) 2回上映
 第1回 13:30～15:30(開場13時)
 第2回 18:30～20:30(開場18時)
 ところ：米子コンベンションセンター 小ホール
 入場料：無料
 託 児：第1回上映のみあり(22日まで要予約)



(お問合せ先) 米子市男女共同参画推進課 (電話 0 8 5 9 - 2 3 - 5 4 1 9)

